

第2回 令和7年度使用教科用図書加古川採択地区選定委員会 議事録

日時：令和6年7月26日（金）

場所：高砂市ユアアイ帆っとセンター

2階交流スペース7

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- ・教科書展示会について

4 協議事項

（1）「令和7年度使用中学校教科用図書の選定について」

会 長：先ほどの報告でもあがった教科書展示会でのコメントについて、来場者が約4,900人ということで、他市で同規模の自治体でも5年間の平均で300人という自治体もあることから、大変多い人数になっていると感じました。もっと展示会の開催方法を工夫してはどうかという意見もあり、改めて教科書展示会はひとつの良いイベントになると感じました。それでは調査員会からの報告と展示会アンケート等を参考にしながら、選定委員の皆さんが事前に教科書を読んでこられてのご意見を踏まえて、この選定委員会の内容を決めていきたいと思います。最終的に選定委員会からの報告書を、加古川市教育委員会に提出しなければいけません。その関係もあり、出版社ごとに、各教科の意見をいただきたいと思います。できるだけその出版社の良いところを中心に言っていただくようなやり方でいきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

委 員：（異議なし）

会 長：前回の選定委員会の記録を参照しますと、最終的に委員の皆さんには、1社ずつご意見いただいた後、意思表示していただいています。今回もそういう形でよろしいでしょうか。

委 員：（異議なし）

会 長：例えば、国語でA社が全員良いとおっしゃったときは、「すべての選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。」、今日は5人ですので3人以上だったら、「大半の選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。」、2人だったら「複数の選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。」、1人なら「選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があっ

た。」という4段階にすると、選定委員の協議の様子が、ある意味一目瞭然になると思います。調査員の報告書、様式2を見ますと、2重丸が多いところは調査員の評価が高いというのがわかると思います。選定委員もせっかく協議するわけですから、協議の内容がひと目でわかるような形でやらせていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。どうしても1つに絞れない場合は複数、例えば国語だったらAとBが良いというような意思表示でも良いと思います。1社に必ず絞らなければいけないというルールはないので、そういう形でいきたいと思いますが、よろしいですか。

委員：（異議なし）

会長：それではそういう流れでいきたいと思いますので、早速国語の方から入っていききたいと思います。

①国語教科用図書の選定について

会長：東京書籍からお願いします。良い点を中心にお話いただけたらと思います。

委員：東京書籍の場合、特徴として、古典を楽しく子どもたちに教えることができるようになっています。最近は若手の先生方が多いので、若い先生方も教えやすいような内容が良いと思います。その点において、東京書籍はそのあたりを大事にしているから良い教科書だなと思っております。

委員：東京書籍に関しては、読書の案内として、たくさんの本を紹介しているのがとても良いなと思いました。他にもたくさん紹介されていると思うが、いろんなタイトルをつけて1年間で100冊以上を紹介しているのは、読書という習慣がない子どもたちにとっても興味をそそるコーナーで良いと思いました。

委員：普段教科書に関わることはないのですが、ぱっと見た感じ、まず読みやすいと感じました。作者の紹介などもあり、知っている人も多くあったので、入りやすい感じは受けました。そういうところが良いと思いました。

委員：東京書籍だけではありませんが、作者の説明のところにきちんと顔写真が入っており、興味を抱きやすいと思いました。そこから同じ作者の他の作品に向けての興味も広がっていくと良いなと感じました。私も古典の扱いがとても丁寧で良い印象を持っています。

委員：調査員会でも話が出ていましたが、古典は非常に良いです。非常に手厚くやっているなという印象を持ちました。「浦島太郎」も出されていたが、そういったところが良いのかなと思いました。「未来への扉」で、SDGsに関して現代的課題についてもうまく取り上げているところが良いと思っています。それと、デジタルコンテンツはどの教科でも非常に良いというふうに言われていたが、やはり使いやすい

方の部類だと思いました。ただ、デジタルコンテンツの中で、東京書籍の評価として、思考ツールはいっぱい載せてあるが、あれが本当に使えるか、あるだけではなかなか使えないのではないかと感じました。

会 長：続きまして、三省堂について聞きたいと思います。

委 員：いろいろ細かくやっていますが、1 ページの中にいろいろな情報がありすぎて、生徒が落ち着かないのではないかと思います。特に視覚的な情報が気になる子にとっては、本文のここを学びたいが、すぐ次のページや次の場面の情報に目移ってしまう。そういう傾向があるのではないかなと感じました。

委 員：3 学年にわたって、最初の方に「思考の方法」というコーナーが設けられているのが、すごくわかりやすくて良いと思いました。そこに掲載されている「思考の方法」がいくつかあるが、それが「学びの道標」というところにも掲載されていて、本文を読み取っていく際のヒントとなり、繋がりがとても良いと思いました。

委 員：歌手の曲などがあって取りかかりやすいと思います。少し目移りしてしまうページが多いところが印象的で、見ていて面白いと思いながらも、文字が入るより先に絵などが入ってしまうと感じるような内容でした。

委 員：SDGs との関連が見えづらいような印象を持ちました。各単元の後に「学びの道標」が提示されていますが、しっかりと「学びの道標」の内容を読み込まないと、何をここでしていくのかが、一見しては捉えづらい場合もあるのではないかと少し感じました。

委 員：1 年ではグループ新聞を作ろう、2 年では情報誌を作ろう、3 年では名言集を作ろうという形で、国語の授業の中で話し合い、1 つのまとめの作品を作っていくという活動を取り入れているのは、総合的な学習の時間みたいなどころはあるが、国語から発展させていく活動としては面白いと思いました。グループディスカッションを積極的に取り入れるようにしており、発達段階に応じて3 年間、ディスカッションの質が上がっていくように構成されており、非常によく考えていると思いました。他にも「ビブリオバトル」や「ブックトーク」など、国語を使った活動がすごく豊富にあって、うまく使ったら面白い教科書だと思いました。ちょっと盛りだくさんかなあという気はしました。

会 長：それでは教育出版をお願いします。

委 員：まず、全体をさっと3 学年見て、各単元の構図が統一されており、安心して読むことができるような構図になっていると思いました。こういうふうに読んで、考えるという流れがある程度統一されているので、子どもたちは見通しをもって、落ち着いて読み、安心して学習を進めるのではないかと、前の学びが次の学びに全部繋がっていくような構図になっていると思いました。あと、細かいことですが、紙の色が

他と違いますね。この点も落ち着いてしっかり読み返す、読み込むという意識をもてるよう工夫しているのかなと感じました。

委員：調査員の報告にもありましたが、各教材の最初の「学びナビ」というのが珍しいなと思いました。何を学んでいくのか確認できたり、見通しを持てたりできるのは良いなと思いました。調査員の方が言われていたように、先生方の工夫がしにくいというところは、一理あると思いました。そういった「学びナビ」というのが特徴かなと思いました。

委員：1年生であれば絵や作家の話があったり、人物の紹介も深くしている部分もあったりなど、国語の教科書としては紙面構成も読みやすくわかりやすい印象です。

委員：各単元の後に置かれている学習活動の流れというのが、一見して非常に捉えやすい表記の仕方で工夫されていると思いました。それぞれの題材に関連する図書もたくさん紹介されており、学びの広がりが期待できるのではないかと思います。

委員：教育出版の構成は非常に上手に作っていると思います。ただ、説明的な文章が多いように思いました。説明文としてだけなら良いですが、物語や散文、韻文等いわゆる詩歌に関しては、少し足りないように感じました。あと、デジタルコンテンツは少なめと感ずるので、その辺がもう少し足りていたらよかったかと思います。SDGsに関しては、非常に上手に取り扱おうとしています。1年生が『「エシカル」に生きよう』、2年生では地下水について扱った「水の山 富士山」。このように現代的課題をうまく取り入れているのが良いところだと思いました。調査員の報告にあった「子どもの権利条約」の部分は全然違和感なく、それを取り上げていることは良いことだと思いました。

委員：私も、調査員の報告がどういうところの指摘だろうと思っていました。ひょっとしたらこの「守られる権利」のところが母親を想起していて、最近の家庭のあり方が多様化しているというご指摘に繋がったのかと理解しました。

委員：絵のことを少しイメージしているのかもしれないですね。確か、ユニセフが作っている絵ですね。こういったところも取り上げたほうが良い気はしますが、それが国語でやるべきか他の教科でやるべきなのかは少し考えるところかもしれません。

会長：それでは光村図書をお願いします。

委員：面白い話がいっぱいありましたが、全体の構成として統一感がもっとあったら良いと思いました。パッと見て子どもたちがどこを見たらよいのかわかりにくい。そのあたりをもう少し工夫した教科書だったらもっと良いと思いました。

委員：私は教材の最後の「学びへの扉」というのが、すごくわかりやすく良いと思いました。横書きになっていますが、このパターンで図式化されていてとても目を引き、流れがわかりやすいと思いました。このように段階的に書いてあることで、子ども

たちも主体的に学習に取り組めるのではないかと思います。

委員：全体的に少しわかりづらい構成でしたが、後ろの方に「グループブック」や「資料編」という形で説明があるのは面白いと感じました。参考書など昔は持っていましたが、こういうふうにやったらわかりやすいのかなってというのは思いました。

委員：「学びへの扉」のところが非常にわかりやすいと思いました。あと、「学びのカギ」では、ページの一番上にインデックス表記がされていて、この辺りの表示の仕方が何を学ぶのか非常に捉えやすいと思いました。SDGsに関しても、この題材がどのSDGsの目標と関連しているのかということが、パッとわかる。こういうところにも配慮を感じました。

委員：特に教材の最後に読書の薦め的なもので、本を紹介しているコーナー、「本の世界を広げよう」とか、本をたくさん紹介しているという印象があります。他の3社と比べてみても、一番本がたくさん紹介されていたと思いました。本を読む機会を増やしていくという意味では、教科書が薦める本は子どもにとっても、読んでみようと思うのではないかと思います。そこは充実している印象でした。デジタルコンテンツは光村図書が良いと思いました。スピーチやグループディスカッション動画がわかりやすく、しかも動画はどうしても読み込みが遅くなりがちですが、光村図書は読み込みも速くすぐに見られます。そういう意味では非常に扱いやすいのではないかと感じます。練習問題がPDF（紙）で、CBTにはなっていないのですが、「国語の力だめし」というのがあり、それはデジタル回答になっていたのも、国語が苦手な子でもICTを使うことで、ちょっと取りかかりやすくなるのではないかと感じました。

会長：これで4社すべて終わりました。皆さんが「これが加古川の子どもにとってふさわしい」というのを1社ないし2社、教えていただきたいと思います。

委員：ゆっくりじっくり、自分の想像力の中で見たいところがあるので、落ち着いた教科書が良い。例えば、東京書籍や教育出版が私は理解しやすかったと思います。

委員：私は光村図書が良いと思いました。

委員：私は、絞り切れないですが、東京書籍か光村図書かなと思っています。

委員：私も絞るのは難しいと思いますが、教育出版か光村図書が良いのではないかと思います。

委員：私も2つで悩みましたが、光村図書かなと思います。本の紹介もあり、デジタルコンテンツが本当に充実していると思いましたので、光村図書がふさわしいと思います。

②書写教科用図書の選定について

会 長：続きまして、書写です。東京書籍からです。

委 員：最近の子どもたちはなかなかこういう書写に向かうことが少ない中で、実用的な内容の教科書があれば良いと思います。東京書籍は、教科書を見ながら自分でも学習できるような構図になっていると思います。

委 員：報告にもありましたが、「基本の点画の書き方」というページ、穂先がどう向くのかというイラストと、「とん、すー、ぴたっ」というような表現が非常にわかりやすいのではないかと思います。

委 員：読んでいてわかりやすく、実際に使いやすそうでした。年賀状や手紙の書き方もわかりやすく載っており、そのあたりが良いかと思いました。

委 員：大変わかりやすいのは皆さんと同じ意見です。報告書の中にもありましたが、「書写活用ブック」が取り外しできないという指摘がありました。取り外しができることさらに良いのではないかと思います。

委 員：私も「書写活用ブック」を一生懸命外そうとしたが外れませんでした。この「書写活用ブック」の中にいろんな日常で使えるようなものがたくさん集められており、取り外しはできないが、活用するのには非常に有効かと思いました。デジタルコンテンツはパターン的には同じように作ってありますが、書き方の手本が映ると、字を書くとそこに補助線が画面上に出るようになっており、生徒がわかりやすいと思いました。そういう工夫が見られました。

会 長：では続きまして三省堂をお願いします。

委 員：行書等、これを見本とするのは少しわかりづらいと思います。

委 員：「学力テスト問題」というコーナーがあります。学んだことの確認かもしれませんが、書に楽しんで取り組む方に重きがあったら良いなと思いました。

委 員：何をやる教科書なのかというのが印象で、一見して何を学ぶのかがわかりにくいという感じを受けました。

委 員：特に何か強い印象というものはありませんでした。文房四宝のページは非常にわかりやすく解説されており、見やすく良いと感じました。

委 員：小学校のようなレイアウトの印象があり、中学生の教科書に見えづらいところもありました。ただ、三省堂は国語の教科書とリンクさせているところが随所にあります。1年生で45ページの新聞の作り方の表記、2年生では情報誌を作ろう、3年生では名言集を作ろうということで、いわゆる書というものを使いながらどんな形にしていくかという、まさに総合的な学習の時間が設けられ、発展的な部分が面白いのではないかと思います。47都道府県を書くところがあり、社会科など、他の教科とリンクするところに重きを置いている印象を持ちました。

会 長：では教育出版をお願いします。

委 員：これはワークブックに近いのではないかと思います。字というものを書くというより、勉強するという印象です。特に非常に文字が多く、限られた書写の時間の中でこの通りすると、習字の時間が真っ先になくなってしまうような感じがあります。中はわかりやすくとても良いが、これを全てこなすのはしんどい気持ちになる生徒がいるのではないかと感じました。

委 員：42 ページに『行書の筆使い「大」、はじめに筆の動きを確かめよう』というところがありますが、手のイラストと一緒に掲載されているので、筆使いがすごくイメージしやすいと思いました。

委 員：文字のフォントや願書、メール文の書き方等、実用に近い印象は受けました。字を書く勉強の中で、メールの話をどう結びつけるのかという部分は取り扱う上で先生方が難しいのではないかと感じました。

委 員：読み物としては非常に面白いなという印象を受けました。例えば文字の変遷や楷書・行書などを使ったものの例え等、面白く読めるのではないかと思います。ただ、書くというところに焦点を当てると、どれぐらい授業の中で扱っていいのか心配な点ではあります。

委 員：私も非常に盛りだくさんである印象を持ちました。綺麗な写真がたくさん入っていました。『日本建築と「書」』など、書というところから日本文化を感じさせるような写真がふんだんに使われている印象があります。日本の文化を知るための時間であれば良いが、書くということに限定していくといかがなものかと思いました。デジタルコンテンツの動画は非常に読み込みも早いですが、無音でした。静かなところで、書をものすごくゆっくり書いているので集中力が必要です。動画を見るのに集中力があるのはどうかと思いました。ここだけ教科書サイズが違いました。そういう特徴があります。

会 長：それでは最後、光村図書をよろしくお願いします。

委 員：楷書、行書の見本、秀逸、非常にすばらしい字であります。胸を張ってこれで教えることができるような見本であり、これを書いたこの出版社の、そこにしっかり力を入れて書いた見本だと思いました。筆の書き方も非常にわかりやすく書いており、基本的なことや、学びたいことをわかりやすく表現しているのはこの教科書だと思いました。

委 員：漢字の筆使いのところで、「トン、スー、トン」というような表現をされているのがわかりやすいと思いました。また、見開きの手本1ページに1文字というように、2ページで1枚の手本になっているのは光村図書が一番多く、ほぼ実寸、ほぼ同じサイズで書くとなると、子どもたちはすごくイメージしやすいと思います。どうい

うふうに半紙の上で文字を配置したら良いかわかりやすく、その点はとても良いと思いました。

委員：学年ごとに切り替わっているのがわかりやすい構成だと思います。途中、漫画調のようなところもあり、取りかかりやすさはあると感じました。どうしても、字ばかり書かれているより、そういうところは良いと思いました。

委員：88 ページ「手書きのよさって何だろう」というところが漫画で描かれています。あえて今、パソコンやスマートフォンを使うことが多い中で、この手書きの良さを中学生に漫画でアピールしているところは工夫が感じられました。あと 96 ページの「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」も見開きでわかりやすく扱っていたり、入学願書の書き方など具体例として記されていたり、身近に感じやすい教科書の仕立てになっていると感じました。

委員：本当に非常によくできていると感じました。「別冊書写ブック」も取り外せたので、使いやすいなという感じがしました。「手書きのよさって何だろう」は、本当に良いが、国語の先生にとっては、賛否分かれるところかと思いました。唐突に、この流れの中で漫画が出るので、これを斬新と見るかどうかですね。国語教員の方は意見が分かれるかもしれないと思います。私個人としては非常に面白いと思いました。生徒はパッと引きつけられて読んで、手書きもよいなあと見えるような文になっていると感じました。デジタルコンテンツも東京書籍と一緒に、実写の動画の中に補助線が出る非常にわかりやすいものかと思います。

会長：それでは、それぞれ意思表示をお願いいたします。

委員：私は光村図書の見本が圧倒的。見たらわかるころだと思います。

委員：私も光村図書が良いと思います。

委員：私も、光村図書がふさわしいと思います。

委員：同じく光村を推薦したいと思います。

委員：私も、光村図書がふさわしいと思います。

③ 社会科（地理）教科用図書の選定について

会長：続きまして社会科です。まず、地理的分野に行かせていただきます。それでは東京書籍をお願いします。

委員：満遍なく書いていますが、地図の表示の色合いなどがやや見にくいと思います。しかし、全体的に学習を振り返るという部分では丁寧に作っていると思います。

委員：私は全体を見て、写真やグラフがとてもきれいで見やすい印象を受けました。

委員：写真など見た目が良いと思います。ただ、地図と地理は分かれているんですか。

委員：地図と地理の教科書は別で使っています。

委員：全体的に見やすい構成になっています。また、いろいろな写真が載っていて、興味をひきやすいと思います。

委員：世界地理は、州ごとに分かれるのですが、最初の見開きの写真が非常にうまくまとめられている印象を受けます。また、社会科の授業の中で地域調査がありますが、授業では扱いにくいところなのですが、身近な神戸市が取り上げられているのは、生徒にとって学習しやすいと思います。さらに、デジタルコンテンツが非常に豊富で、社会科教員がほしかったツールの「比べる雨温図」があることが大きいと思います。

会長：東京書籍は以上でよろしいですか。

会長：続きまして教育出版をお願いします。

委員：地図の表示の仕方が色合いなど少し見にくいです。また、学習の振り返りとつなげるところをもう少し工夫してあれば良いと思います。

委員：見開きのページでSDGsの17の目標が書かれており、SDGsの視点で考えられるような場面が随所に設定されているというのは良いと思いました。

委員：斬新であるが難しいという印象です。

委員：SDGsのところがよく話題に出るのですが、私も一番目が引かれました。いろいろなテーマで非常にわかりやすく表示されているのは良いところではないかと思いました。

委員：緯度、経度の切り方について、一般的な記載と異なりやや難しく感じました。

委員：SDGsや持続可能な社会という視点では、国が求める内容の現代的な課題を多く取り上げていると思いました。また、構成も非常にシンプルで流れも扱いやすいと思います。各章の学習のまとめは対話的な学びを想定しており、多様な問いを効果的に使えば面白いが、教員の力量に左右されるため、授業でどのように活用していくかが問われると思います。デジタルコンテンツはやや少なく扱いにくいという印象を持ちます。

会長：次、帝国書院をお願いします。

委員：地図と内容が連携されておりわかりやすいと思いました。それから本文と写真、図、グラフのバランスも良く、わかりやすい教科書だと思いました。

委員：全体的に資料や写真が豊富で、導入の最初のページでは、日本の各地方のイラスト・図など地域の名所が掲載されており、学習への関心が高められると感じました。

委員：文章を見るっていうよりはまず写真に目がいき、そのあとに文章を見るところが取り組みやすいと思いました。文字ばかりだとやはり見にくいけど、写真がとても興味深いものが多かったです。

委員：日本の各地方にどの県が属しているか、最初のページでわかるようになっており、非常に取り組みやすい構成になっていると思います。

委員：写真・イラストは本当に目をひくように作ってありました。また、「学習を振り返ろう」ではグループ活動につながる内容となっており、非常に取り組みやすい構成になっていました。脱炭素化など現代的な課題やデジタルコンテンツも豊富に扱っている印象です。さらに、図解アニメーションは語句や地理的な現象を説明する際に非常にわかりやすいです。そのため、生徒が自ら学習を進めやすい構成となっており、主体的な学びに繋がると思いました。

会長：それでは最後に日本文教出版をお願いします。

委員：地図や写真の表示の仕方がやや見にくいものとなっており、少し残念なところかなと思いました。

委員：地域的なことや震災の内容は良いが、写真が少なく読みたいという思いを持ちづらい感じを受けました。

委員：文字やイラスト、写真が同じような分量で配置されているような印象で、興味をもたせるところでは少し弱いと思いました。

委員：カラフルすぎるのも良くないが、あまりにも白が目立つと感じました。SDGsに関する内容が充実していました。「議論してみよう」では、話し合い活動がしやすいような構成になっていました。良い問いを設定しているが、ファシリテーションが難しいものとなっており、教員の力量が問われると思います。デジタルコンテンツで2つの雨温図を1枚に重ねることができるのは特徴的だと思います。

会長：それでは、意思表示をお願いします。

委員：私は帝国書院が良いなと思いました。この教科書を読んだらもっと自分で勉強したいなと思うような構造になっています。また、近畿地区も非常にたくさんの情報が入っていて、もっと読んでみたい、そこに行ってみたいと思う教科書だと思います。

委員：私も帝国書院が良いと思います。

委員：私も帝国書院の教科書のインパクトがあったと思います。

委員：私も同じですが帝国書院が良いと思います。

委員：私も帝国書院かなというふうに思います。本当にインパクトがありますし、生徒が取り組みやすいと思います。

④社会科（地図）教科用図書の選定について

会長：それでは地図の方へ入っていききたいと思います。調査員も言っていましたが、最近

は、地理の教科書の補助的役割で地図帳を使いますが、昔はどちらかというと、地図帳を中心に使っていました。大きく今変わってきていると感じました。でも地図がないと困るときもありますので、そういう意味で地図は必ず用意していただいているというのを申しあげておきます。それでは東京書籍からお願いします。

委員：この地図ですが、まず全体の色、コントラストが曖昧なところがあり、見にくいなと感じます。そして何よりももっと調べたいと思うような情報量が少ないと思いました。

委員：報告書にもあったと思いますが、「Bee's Eye」ということで、このハチがいろんな場面で、ヒントを出したり問いかけたりするところが良いと感じます。学んでいく上で、じっと見るだけではなくて、そういった視点を与えてくれるのは良いのかなというふうに思いました。

委員：後ろの方に掲載されている統計など、文字が一見して見にくいのかなと思います。スペース的にこれぐらいでしか掲載できないのかもしれませんが、見にくさを感じました。

委員：色合いがあまりインパクトを感じるものではないかなと思います。昔からある地図帳、自分もこのような本で勉強したなという印象を持ちました。

委員：調査員の報告でも、今のような話がいっぱいありました。江戸と東京の鳥瞰図があって、これらが割と面白いなと思って見ました。それと、デジタルコンテンツだけで見たら、東京書籍が非常にわくわくさせるようなデジタルコンテンツが豊富にあるなと思いました。そこは東京書籍の大きな特徴かなと思います。特に、地球儀が3Dタイプで浮かび上がる映像が出てきますが、グーグルアースで最近をよく見られます。そのグーグルアースの地図帳版のようなものがあって、これは非常に良いなと思いました。

会長：では、帝国書院お願いします。

委員：まず、非常に地図がわかりやすいと思います。それから地図の中で表現されている地域文化というのは工夫があるなと感じました。また、鳥瞰図も非常にわかりやすかったです。それからいろんな最新のデータがあり、このデータをもとにいろんな子どもたちがいろんな切り口から調べやすいような構成になっていると思います。

委員：先ほどありましたが、鳥瞰図がすごく良いなと思いました。全体が見えてイメージしやすいなと思いました。

委員：率直にこちらが良いなと思いました。

委員：色使いが非常に見やすいです。平面ですが、何となく立体的に感じるような色使いになっていて、非常に見やすい地図だなということを感じました。あと、データが新しいものが掲載されているなというふうに思います。

委員：地図の見やすさは群を抜いていると思います。そこは素晴らしいなというふうに思います。あと同じ縮尺の図を複数掲載し、比較しやすいように工夫もしています。それからたくさん小さな図、社会的には主題図と言いますが、その主題図が非常に豊富でした。だから、例えば主な鉱山資源とか大気汚染の図や、世界中で入手される中国製品というような形で、いろんな主題図があるというのはこの帝国書院の強みかなと思います。デジタルコンテンツも悪くはないです。非常に良いものもありました。ちょっとリンクに頼っているところもありますが。調査員会でジオグラフが良いって言っていたように、本当に良いと思います。ぜひ、機会があれば見ていただけたらと思います。あのジオグラフが使いたいがために、これを使うっていうぐらいジオグラフは良いのかなというふうには思います。

会長：それでは、ご意見を聞かせてください。

委員：帝国書院が良いと思います。

委員：帝国書院が良いと思います。

委員：帝国書院が良いと思います。

委員：私も帝国書院です。

委員：はい。私も、帝国書院で良いと思います。

⑤ 社会科（歴史）教科用図書の選定について

会長：それでは次は歴史、数がたくさんあります。しかも、教科書展示会のアンケートでも歴史は非常に多くの意見が出ています。では東京書籍からよろしくお願いします。

委員：東京書籍らしい教科書だな。満遍なく丁寧に、挿し絵なども含めてバランスよく構成しながら、わかりやすい教科書だなと思っています。

委員：部落問題をしっかり取り上げているところが良いなと思いました。218 ページのところで「もっと知りたい」というところがあるのですが、人権学習等にも活用できるなと思いました。

委員：年表が教科書の右端の方で進んでいるので、パッとどこの時代で何を学んでいるというのがわかりやすいという印象です。

委員：私もこのページの右端にある年表が非常にわかりやすいと思いました。意見が重複しますが、人権についての記載にしっかりページが割かれていて、こういうところから学びが広がっていくと良いなと思います。

委員：本当にバランスの良い教科書だと思います。各章末に「まとめの活動」というのが、どの会社もあるけども、東京書籍は4 ページ使っています。しかも「年表でこの時代を振り返ろう」という形でいわゆる歴史のまとめをしようというのが、ふんだん

に盛り込まれていて、歴史を章ごとに体感する。古代はこんな感じだったよ、中世はこんな感じだったよ、というのを実感させてから次の時代に行くというようなところが非常に良かったと思います。あと、いつもながらデジタルコンテンツは非常に充実しています。

会 長：では続きまして教育出版をお願いします。

委 員：きっちりできているなと思ったのが、日本人の起源であるとか、そのあたりを丁寧に扱っている。それから人権問題、水平社や解放問題について、しっかり組み込んで作った教科書だと思います。

委 員：調査員報告書にもありましたけれども、「Look!」、「Think!」、「Try!」というような形で構成されており、「Think!」のコーナーでは、いろいろと考えさせる問いが設定されているところで、子どもたちが自分で考えて学んでいくというような工夫がなされているなと思いました。

委 員：覚えようとするところの人物名が太字になっており、使いやすいという印象です。

委 員：各章の最後に、「学習のまとめと表現」というページが設けられているのですが、言葉を抜いたような年表も用意されて、学んだ内容をもう一度この年表に置き直して捉えるという学習作業が非常にしやすくなっていると思いました。それから先ほどもありましたけれども、やっぱり「Look!」、「Think!」、「Try!」の構成が非常に印象的で良いなと思っています。

委 員：皆さんおっしゃったところだと思います。教育出版はSDGsのことを、歴史の中でも効果的に取り上げられています。これは調査報告書の中にもありました。それから、いわゆるタイトルがドラマ風になっている。例えば「将軍のおひざもと天下の台所」とかです。「花開く町人文化」とか「連判状にまとまる人々」「繰り返される政治改革」というふうに、生徒に興味づけをさせるような題をつけているのは、面白いです。シンプルに読みやすい内容構成になっていると思いました。

会 長：それでは帝国書院をお願いします。

委 員：帝国書院の教科書の構造は、先ほど地理と同じようになっていまして、振り返りでチェックしやすくなっています。それから、日本人の起源であるとか、水平社あるいは身分制度について、しっかり表現しているところが良いと思います。現場では、これをもとに、同和問題をしっかり学ぶことのできる教科書だなと思っています。

委 員：「タイムトラベル」という見開きで描かれているイラストが、すごく子どもたちの興味を高めるのではないかなと思います。そこからいろんな問いやその時代が見えて、すごく面白いなと思いました。

委 員：ページの中に「未来に向けて」として「環境」「エネルギー」「人権」「多文化」などタイトルがあり、何について書かれているのかがわかりやすい。歴史ですが、

最後に「未来に向けて」が書かれており、違う視点だなという感じがしました。

委員：私も「タイムトラベル」に非常に興味をひかれました。何が書かれているのだろうと細かいところを探したくなり、とても良いページだなと思いました。それから、「タイムトラベル」を用いて章の振り返りが設定されていて、このような構成が非常に良い。

委員：帝国書院の「タイムトラベル」はすごく際立っていると思います。社会科教員だとぱっとこれを見て、こんなふうに授業をしたいなというのが浮かぶので、生徒も考えやすいだろうなと思います。調査報告書では、デジタルコンテンツについて、「タイムトラベル」が拡大できるだけだと評価していなかったのですが、指示に従ってやると自分では見つけられなかったことが見つかるように誘導されるように設定されています。また、人権の視点で、広く歴史の中で重要なところを押さえているなと思います。

会長：それでは続いて、山川出版社お願いします。

委員：山川出版社は、いろんなことを参考資料として学ぶことにおいては、とても良い教科書なんですけども、対話的な学びというところが少し弱いなと思います。

委員：調査報告書にもありましたが、本当に文章量が多く、文字も小さめで、やはり子どもたちにとっては少し読みづらいと感じました。

委員：教科書という感じで、子どもたちにとって親しみにくいという印象があります。

委員：資料が非常に豊富だなと感じています。編集趣意書を見せていただいて、各教科書が、人物では誰を扱っているのかが一覧になっていました。他の出版社は扱っているが、山川出版社だけが扱っていない歴史人物が複数見受けられました。そのあたりにも特徴を感じているところです。

委員：山川出版社というと高校の日本史で有名です。中学校の教科書についてはやはり難しい感じがします。調査報告書でもありましたように、大体見開き2ページで授業をするのですが、見開きを1時間で終わらせようと思うとやや内容が多いと思います。ただ、日本史の部分に関しては、使いたいなという素晴らしい資料が多くあるので、資料集なら活用しやすいですが、中学校の教科書となると時間的に厳しいという感じはします。あと、今の加古川の子どもたちはICT活用を進めようとしていますので、デジタルコンテンツがないということが少し厳しいなと思います。

会長：次、日本文教出版、よろしくお願いいたします。

委員：紙面のこの構成が非常に整っている。どこが整っているかというと、ぱっと開いたときに、幕府政治の改革というのがわかりやすく出てきます。このページはこのことについて学ぶのだなというのがすぐにわかります。学習の課題として、必ず下にもめあてが出てきます。このページを見たら、何を学ばないといけないのかというこ

とを、子どもたちもすっと理解できるように整理されている教科書だと思います。それから人権についても非常に力を入れており、水平社などは見開きで2ページを合わせて使っており、非常によく考えられている教科書だと思っています。

委員：120 ページに「地域調べ」というのがあって、そこで、姫路が取り上げられています。子どもたちにとっても、姫路という町は身近だと思いますので、「テーマの決定」課題で考察まとめというふうに段階をおって進められているというのは面白くて良いなと思いました。

委員：タイトルの下に節の問いという形で学習課題がページごとに書かれており、何をここでは問われているのかがわかりやすい。巻末には史跡などが掲載されており、見やすいなと思いました。

委員：要所に「先人に学ぶ」とか、「地域に学ぶ」という小さなコラムが準備されていて、実際に授業の中でどの程度触れていけるのかというのは、時間配分等でわからない部分があるけれども、こういう興味の広がり期待できるような部分があるのは特効的で良いのかなというふうに思います。

委員：「学習のはじめに」というのが必ず最初の方にあるけれども、そこが年表を使うというのは、歴史では当たり前です。そこに地図を使って、その時代の世界との関係とかですね、日本の中での今の状況とか、年代だけじゃなくて地図を使って表しているというのが日本文教出版の特徴で、うまく活用していると思います。どうしても歴史は縦の関係ばかりを見てしまうけど、地図を見ることによって、平面世界を体感するというのが歴史を学習しながらできるということで、非常にいいなと思っています。デジタルコンテンツが豊富で、必ず年表が出てくるように設定されているので、常にデジタルの中でも、年表で歴史の流れを確認できるようになっているというのは、日本文教出版の大きな特徴かなというふうに思います。

会長：では自由社お願いします。

委員：自由社については、兵庫県についての記述が極めて少なく、もう少しあればと思います。

委員：自由社について調査報告にもありましたけれども、非常にシンプルな紙面構成になっている。だから非常に読みやすいかなあというふうに思います。また一般的には、第1章とか第2章と古代、中世、近世と分けるのですね。ところが自由社は、すべて通し番号で分けているのが特徴です。例えば「大和朝廷と東アジア」が10で、そのあと「聖徳太子の政治」で11というように順番でずっと繋がっていて、単元84まで続く形になっています。歴史は、見開きを1時間で授業することが基本ですから、見開きで84時間勉強したんやという形になるので、流れが掴みやすい構成になっています。また、江戸の3大改革は、非常によくできています。資料として使い

たいなと思うような内容です。ただ、活用しやすいページとそうでないページのバランスが非常に良くないかなという感じがしました。そして、日本の伝統とか文化について多く書かれています。古事記や日本書紀は日本の伝統文化にとって大事な書物として掲載されていますが、なぜか風土記について触れてないのです。風土記ってというのは、特に兵庫県は、「播磨の国風土記」という有名な書物ですが、「播磨の国風土記」に触れられてないというのが、やや気になったところです。多様性とかSDGsなど現代的課題がほとんどないので、今の中学生にはやや物足りなくて、バランスが良くない印象です。何より決定的な問題としては、デジタルコンテンツがないことです。今の子どもたちにとっては、教科書だけで学習していくのではなく、デジタルコンテンツを活用して、学習意欲を高めていく必要があります。

会 長：それでは、育鵬社お願いします。

委 員：育鵬社ですが、特攻隊に関する掲載があったのは、本校が修学旅行で、鹿児島の知覧に行くので、教科書で取り扱っているところが活用しやすいと思いました。しかし、人権に対する記述がもう少しあれば良いと思いました。

委 員：文字情報がやや多いところがありますが、人物の肖像画から入る違う切り口は面白いと思いました。

委 員：各章の最初に「歴史絵巻」というのがあります。もちろんイラストで描かれています。これが、写真資料に置き換えられていれば、後の本文の部分との関連がわかりやすくなると思いました。絵巻物ではなく、写真でも良かったと思いました。章末のまとめは、非常に学習しやすい作りになっている印象を受けました。

委 員：「歴史絵巻」のところはイラストよりも写真が良かったという意見がありました。当然写真であっても良いと思うんですけど、この育鵬社の特徴としては、章の初めに「鳥の目で見ると」「虫の目で見ると」という題をつけています。タイムトラベラーのように、時代を旅して動くような4人のキャラクターが出てくるところは、生徒に興味付けをさせようとしている雰囲気があり良いと思います。調査報告で指摘がありましたが、セーラー服と詰め襟の学生服が、加古川市の制服も多様性を意識したものに変わってきたので、それはどうかなというものはありました。実際、自身には多様性の部分がないように感じました。また、これも指摘がありましたが、デジタルコンテンツが非常に少なく、すべてNHK for schoolへのリンクのみというのはややもったいない感じがしました。

会 長：それでは、令和書籍お願いします。

委 員：興味のある人への読み物としては非常にたくさんの情報があって面白いと思います。しかし、教科書として使っていくとすれば、例えば、視力の弱い人からすると文字が非常に多く小さいことで読みにくいため、疲れてしまうんじゃないか。また、す

べて白黒ですので、興味関心を持って最初から読むことは難しい生徒がいるのではないかと思います。

委員：教科書というのではなく、図書本というイメージで、個人的には読んでいて面白いという感じはしました。教科書としては、やはり難しすぎる。中学生がこれを使うのは難しいという印象です。

委員：タイトルが国史となっているところが特徴的だと思いました。また、やはり白黒であるということ。最近の社会科の教科書で縦書きというのはどうなんでしょうか。読みにくい生徒もいるのではないかと思います。あと、ボリュームがものすごく、これだけのことを授業の中で扱っていくのは非常に難しいのではないかと思います。

委員：本当に書物としては良いかもしれないですが、確かに生徒には難し過ぎるかなというふうに思います。ただ巻末に掲載されている写真などは非常に綺麗で、資料としては本当に秀逸だと思います。効果的に活用して、生徒に興味づけられるようにできていたらもっと良かったのかなというふうには思います。デジタルコンテンツは一つだけあり、二次元コードから承久の乱の漫画に繋がるようになっています。国史ということは日本史ということになりますが、中身は世界史も入っていますので、題として果たして良いのか。おそらく意図的にされたんだとは思いますが。内容的にはそういったところかと思います。

会長：それでは意思表示の方をお願いします。

委員：私は、地学的な地理的なことまで繋がるような表現の仕方、写真、データ、それから人権問題、それから発展的な課題等、動画等も含め、総合的に見て、日本文教出版が最もバランスが良い教科書だと思いました。

委員：少し絞りにくいところもあるんですけど、私は帝国書院かなと思っています。

委員：私も絞るのは難しいなと思ったんですが、日本文教出版か帝国書院か。帝国書院でお願いします。

委員：私も帝国書院か日本文教出版のどちらかかなという感じなんですけども、1つにするとすれば、帝国書院です。どちらも良い点があって、本当に日本文教出版も良いところがたくさんあるけれども、帝国書院の方が、授業で活用しやすいと思いました。

⑥ 社会科（公民）教科用図書の選定について

会長：それでは、公民に入っていきたいと思います。東京書籍からでよろしいでしょうか。

委員：東京書籍は、非常に構成の仕方が整っており、定評があると思います。特に今回の

教科書については、日本経済の流れが、とてもわかりやすい表現になっているなと思った教科書です。

委員：東京書籍はデジタルコンテンツの量が豊富で、さまざまなツールがあるのが良いと思いました。一番後ろにもまとめてありますが、活動ツールやワードチェックなどがあり、子どもたちが興味を高められるようなツールがたくさんあるのが良いと思います。

委員：写真などの資料が全体的に見やすく、興味を持つ部分もたくさんあるという印象でした。

委員：私も似ておりますが、公民とは何を扱うのか、あまり深く触れたことがないような内容も多くあるのではないかと思いますのですが、ここに載っている写真やイラストが非常に身近なものがたくさん使われていて、生徒が興味を持てるような工夫がなされていると思います。

委員：本当に親しみやすく、見やすい工夫で作ってあるなという感じはするんですが、特集ページがパステル調というか薄い感じがする部分がやや気になりました。調査報告でもありました、「18歳でできることと20歳でできること」が60、61ページにあり、なかなか面白いなと思いました。また、78、79ページでは、誰を市長に選ぶのかというのも、みんなで何か考えてみようかなという工夫された問いがある設定が良いと思いました。それから、先ほどデジタルコンテンツが豊富という意見があったのですが、東京書籍は思考ツールが9種類あるけれど、公民が一番使いやすいです。やはり、世の中のことを考えるのに思考ツールをうまく活用すると、考えがまとまりやすいのではないかと思います。そういう意味では、使いやすいデジタルコンテンツがあると思いました。

会長：それでは続きまして、教育出版をお願いします。

委員：教育出版は、経済的な動きという視点で見ると、これも非常にわかりやすい教科書だと思いました。もう少し興味をひきつけるような紙面にしたら良いかなと思いました。経済的なことがわかりやすい教科書だと思いました。

委員：見やすいとは思いますが。内容的には、現状と離れているような気がして、親しみにくいかと思います。

委員：最初の方の見開きの1ページでSDGsを大きく取り上げていて、公民を学ぶにあたって非常に良いと思います。あと、LookやTryのところ、意識づけしていくような部分も設けられ、使いやすいと思います。

委員：調査報告の中にもありましたけれども、やはり公民では、SDGsを取り上げて掲載しているところが非常に良い。しかし、課題提供としては、うまくやっているけれども、考えてみようかなというふうな設定に持っていく仕掛けがやや少ないです。

だから当然、教員が自分で考えないといけないというので、ちょっともったいないなという気がしました。

あと Think というのが所々あって、そこで考えを深めさせようとする場面があったので、そこは使っていけるかなと思います。しかし、デジタルコンテンツがやや少ないというところがやや物足りないです。

会 長：それでは帝国書院をお願いします。

委 員：帝国書院については、歴史的分野と地理的分野と同じような教科書の構成になってわかりやすい教科書だと思います。さまざまな権利についてしっかりわかりやすく表現しており、そこを大事にしている教科書ということがよくわかりました。

委 員：兵庫県に関する題材が多いところが良いと思いました。特に 48 ページで、姫路の山陽中学校のジェンダーレスの制服が取り上げられているというのは、制服がいろいろ変わっていつている実情もありますし、子どもたちにとっては親しみが感じられると思います。表紙にも掲載されていますし。

委 員：考えられている教科書だと思います。130 ページの「一人暮らしにお金が幾らかかる」など一人暮らしをしたいと思っている子どもたちも、幾らかかるのか算定するところが身近で興味を持ちやすい部分もあるという印象があります。

委 員：学ぶ内容と SDG s の関係が明確に示されているところが良い。また、「アクティブ公民」というコラムがあり、自分たちで考えてみようというのが要所に反映されている。こういうところが自分の生活とつなげて、教科の内容を考えるきっかけになるとと思います。

委 員：私も「アクティブ公民」が良いなと思っていました。非常に見やすく作られており、学習の前に、学習を振り返ろうがあり、うまく工夫されていると思いました。そして、初詣や七夕など年中行事に関して、和食を例にして日本の文化の継承というところがあったと思うのですが、そこも日本の伝統文化を取り上げていて良いと思いました。デジタルコンテンツに関しては、図解アニメーションというのがあり、非常に上手に解説しているので、自学、自習ができるということで、良いと思っています。

会 長：では、続きまして日本文教出版です。

委 員：非常に整理されたわかりやすい表現になっています。上部にタイトルが示してあり、その下部に目当てがあるという非常に読みやすい構成となっています。その横に二次元コードがわかりやすく表示されていて良いと思いました。しかし、色使いなどについてはもう少し工夫が必要だと思う部分もあります。

委 員：調査報告の中にもありましたけれども、デジタルコンテンツがいろいろ工夫されていて、動画などがパッと出てくるというのがすごく、扱いやすいのではないかなと

思いました。

委員：非常に中身が整理されて見やすいというところが良い。新聞の読み方を学ぼうなど身近なことを書いていたり、現在の政治家が掲載されていたり、子どもたちが興味を持ちやすいと思いました。

委員：「公民プラスα」というコラムがありました。現代的な問題をピックアップして扱っているあたりは、良いなと思います。同様に、「明日に向かって」や「チャレンジ公民」など、それぞれが目指すところが少し違っていますが、授業の進行やそれぞれのテーマによって、ページを上手く活用していくと子どもたちが公民を身近に感じたり、深く考えたりできるのではないかと思います。

委員：調査報告でも 116 ページの写真に加古川市が掲載されています。全国規模の会社が加古川市を取り上げてくれているのは、写真 1 枚ですけどありがたいです。授業で活用できるのは、良いなと思います。先ほど、委員が言われたように「チャレンジ公民」のコーナーは、生徒に考えさせるような思考ツールを入れて、うまく構成できるように工夫しているところが、一つ特徴だと思います。デジタルコンテンツも結構あるので、非常に活用しやすいと思いました。

会長：それでは続きまして自由社、お願いします。

委員：この教科書の特徴、特色は、安全保障についての内容にページが割かれているというところかなと思っています。しかし一方、私たちの身近なところの権利ということについては、やや記載が少ないと思っています。

委員：全体的にやはり写真とか文字が多い印象です。あと、デジタルコンテンツがないというのは、今の子どもたちの状況や環境からすると難しいと思います。

委員：調査報告の中で気になったことなのですが、デジタルコンテンツがないというところは、これからの教科書としては少し使いにくいと思いました。

委員：デジタルコンテンツがないというのは本当に活用しにくいです。「アクティブに深めよう」というコーナーで少し考えさせようとするようなところがあり、そこは良いかなと思っています。しかし、「アクティブに深めよう」の 41 ページ開けてみてください。調査報告にもありましたが、黄色がものすごく強くて、非常に見づらいです。このページだけじゃなくて、「アクティブに深めよう」のコーナーすべてが、黄色が非常に強くすぎて、目がチカチカするところが気になりました。せっかく良い活動を入れているのに、それが逆にチカチカして見にくいというのが少し残念でした。安全保障については非常に力を入れていますし、領土問題についても深く扱っているため、憲法の割合が非常に高い。全体的なページ数で見ても、日本国憲法に関する内容をすごく充実させている分、どうしても経済面・政治面の特に社会保障の部分がやや弱くなっています。多様性に関する記述がないのも現在の社会状況

を考えると残念です。

会 長：では育鵬社、お願いします。

委 員：憲法について非常に詳しく書いているのが特徴です。今後の憲法のあり方ということについて、どうやっていくのかを特に重視しながら、表現しているページが非常に多いと思っています。

委 員：デジタルコンテンツがやや少なく、オリジナルのデジタルコンテンツがないというのはやはり残念だと思います。

委 員：内容的にはわかりやすいです。しかし、色使いが見にくいのが印象です。調べ学習などでの参考資料としては活用しやすいと思います。

委 員：「学習を深めよう」というコラムがあるため、いろんな方向に学びが深められると思いました。あと、本文の部分で、薄いパステル調が見にくいという印象を持っています。

委 員：私もパステル調のところがやや見にくいと思います。しかし、思考ツールである「ランキングシート」などを使う工夫はされていると思います。各章の入口に、「これから」というコーナーを設けて、今からこの学習をするぞというような内容の入りとしては良いですが、やや色合いが見にくいなという感じがします。

会 長：それでは意思表示の方をお願いします。

委 員：一番子どもたちが学びやすいような教科書は帝国書院の構成が非常に良いのではないかと考えています。

委 員：帝国書院でお願いします。

委 員：私は帝国書院もよかったんですけど、見やすさの力が大きく、東京書籍にします。

委 員：私は、帝国書院と日本文教出版が良いと思います。

委 員：私は、東京書籍・帝国書院・日本文教出版は良いなというふうに思います。その中でも帝国書院でお願いします。

⑦音楽科（一般・器楽）教科用図書の選定について

会 長：次に音楽は2社です。教育出版からお願いします。

委 員：いろいろな見方、考え方があって、掲載内容がやや専門的で音楽の好きな人にとっては面白い教科書だなというふうに思っています。

委 員：鑑賞のところで、最初のページに、見開きで大きく絵や写真が掲載されているところがすごくインパクトがあって鑑賞に向けての興味が高まるということ、ふるさとという曲が、発達段階に応じて同声2部・混声3部・4部というふうに表現方法を変えながら、3年間取り上げられているというのが特徴だなというふうに思いまし

た。

委員：楽譜がたくさん並べられる紙面よりは、楽器などの写真を多く使って効果的に表現しているところが良いなと思いました。

委員：手に取って開いた感じとしては、落ち着いた紙面だなという印象を受けました。あと、歌唱曲の数が非常に多く、リコーダーの曲も非常に多かったので、そのあたりが特徴かと思っています。

委員：調査報告の中で、音楽史の年表が見やすいってというような話があったと思います。確かに見やすいなというふうに思いましたし、それからアクティブで意見交流ができるってような話も、音楽においても話し合う時間が増えてきていますので、そういう意味では良いのかなと思いました。写真やイラストも非常に豊富でしたし、デジタルコンテンツも豊富にある。動画のスピードを速くしたり遅くしたりすることができるので、音楽においてもそういう機能を使えるのかなというふうに思いました。ただし、創作の活動も増えている中、ICTを使って自分で音を出して音楽を作る創作ツールは取り上げられていなかったなと思いました。2～3年下の66ページのクラシック音楽には、兵庫県西脇市の中学校で行われたワークショップやコンサートが取り上げられていて、兵庫県についての記載があるのは良いかなと感じました。

会長：それでは、教育芸術社お願いします。

委員：なじみのある曲や中身の解説等が非常にわかりやすい印象です。縦書きでこの曲で何を身につけさせたいのかが、一目でわかる等、非常にわかりやすい構図になっています。また、二次元コードも非常に充実している教科書だなと思います。

委員：3年間を通して創作する学習につながる場面が多いなと感じました。また、リズムゲーム等、楽しみながら取り組むことができる課題が設定されています。学習の進め方も丁寧に手順を示されており、授業者にとっても無理なく進められるのではないかなと感じました。

委員：ただ単純に楽譜を見てリコーダーを吹いてという活動にとどまらず、伝統文化として能の話があったり、世界の音楽やミュージカルについて取り上げたり、いろんな音楽に触れて学ぶことができるようになっていてなと思います。このような構成やデジタルコンテンツの活用についても、我々の時代はなかったような部分がこの教科書は充実しているなという印象でした。

委員：音楽の基礎的な知識や歌う姿勢等がわかりやすく解説されているのと、イメージを想起するような写真をうまく取り入れていると思います。あと、調査員の報告の中にありましたが、音楽アプリと連動しているというところはやはり見逃せないと思います。

委員：先ほど音楽アプリの話があがったと思いますが、私は実際動かしてみました。私にはやや難しかったけれど、きっと生徒は手早く取り組めるのかなと思います。調査員の報告において音楽教員が使いやすいと評価していることから見ても、価値があるのだろうと感じました。表紙についても音楽の楽しさや期待感を感じさせるような作りになっているところが特徴的だと思います。1年 37 ページに様々な映画とその音楽の記載があっておもしろいと思います。生徒を引きつけようとする仕掛けが結構たくさんあるように感じました。

会長：それでは意思表示ということで、2社ですけれども、よろしくお願いします。

委員：生徒が一番学びやすい、それから、評価をする際の基準ということも踏まえてわかりやすいのは、教育芸術社の教科書ではないかなと感じます。

委員：私は、教育出版が良いと思います。

委員：私は、教育芸術社です。

委員：私も教育芸術社が良いと思います。

委員：私も教育芸術社の方が、生徒が音楽を楽しめると感じるので良いかなと思っています。

会長：それでは器楽の方へいきたいと思います。同じく教育出版からお願いします。

委員：楽譜が多く、音楽の好きな生徒については、どのページから見てもわかりやすく面白いと感じる教科書であると思います。

委員：琴を題材として取り上げたページを見ると、写真が大きく取り上げられていて、細部にわたって大きく見えるので、見やすく構成されていると思いました。

委員：一番後ろの記載内容ですが、ギターとキーボードのコード表という形でまとめられていて、押さえるところ等が見やすく配置されているという印象です。

委員：パラパラっと開いたときに、五線譜がたくさんある印象を受けました。音楽が好きな生徒にとっては非常に興味深いと思うんですが、楽譜を読むのが苦手だなと感じている生徒には、難しく感じる部分があるという印象があります。

委員：生徒が興味を持ちそうな曲として「サザエさん」や「風の通り道」、「もののけ姫」などを取り上げているというのは印象的でした。デジタルコンテンツの中では、楽器の技法についての写真が非常にわかりやすいと感じます。それぞれの楽器の二次元コードを読み込むと、ギターの演奏の仕方等、写真で様々な技法についてわかりやすく掲載されています。また、リコーダーの運指表も非常にわかりやすいと思ったのと、調査員からの報告にもあった演奏に対するアドバイスが、1つ掲載されているというのも特徴的です。和楽器についてたくさん掲載されており工夫されている一方で、授業の中で全てを取り上げることは難しいと感じる部分もありました。

会 長：それでは、育芸術社お願いします。

委 員：普段は楽器に苦手意識のある生徒に対しても、この説明の仕方なら少しずつでもできるのではないかなと感じさせるように、楽器の演奏方法がわかりやすく書かれていると思います。

委 員：調査員からの報告書にもありましたが、琴のところも、段階を追って簡単なところから徐々にレベルアップできるような形で構成されているというのは、生徒にとってはスモールステップかつ丁寧で良いのかなというふうに思いました。

委 員：使い方が一見してわかりやすい構成になっていることが特徴だと感じます。

委 員：1 ページ目を開いた部分にドラムセットの写真が掲載されていて、学校で習う音楽ってやや堅苦しいイメージがあるように思うのですが、音楽の学習の楽しさや広がりを感じられる紙面から期待感が高まるように思います。また、楽器の奏法も非常に丁寧扱われていると感じます。

委 員：洋楽器・和楽器・打楽器・アンサンブル等がバランスよく配置されているという印象を持ちました。「楽器でメロディー」では、「パプリカ」・「少年時代」・「もののけ姫」等、生徒が興味引くような題材を取り上げている。先ほど他の委員が言われたように琴が丁寧に取り扱われていました。加古川市では、琴を市で購入して全校で指導しています。各学校で琴の演奏を授業で取り扱っているので、そういう意味では、教育芸術社は丁寧に記載されていると思いました。また、デジタルコンテンツでは動画で各楽器の使用方法が掲載されており、写真と比べて動画の方が生徒にとって取り組みやすいよう工夫されているという印象を持ちました。

会 長：それでは、意思表示をお願いします。

委 員：私は教育芸術社が良いと思います。

委 員：私も教育芸術社です。

委 員：私も教育芸術社です。

委 員：重なりますが教育芸術社が良いと思います。

委 員：私も教育芸術社が良いと思います。

⑧理科教科用図書の選定について

会 長：それでは最後の理科に移りたいと思います。東京書籍をお願いします。

委 員：各単元の例題や実験、分析など非常にわかりやすい表現になっていると思いました。

委 員：最初に科学に関する本が紹介されているのが良いと思いました。理科が苦手な生徒もいるかと思うんですが、こういった本を通して理科が勉強としてだけではなく身近に感じられる構成になっているのが良いと思いました。

委 員：表紙の言葉が良いという印象です。理科や科学は取り組みにくいと思うけれども、

中身を見るとやってみたいと興味をそそる内容になっていると思いました。

委員：報告の中にもありましたが、単元の冒頭は身近な日常生活に関連づいたものから、学習に入っていく構成となっており、学習を身近なものと感じられるよう配慮されているという印象です。

委員：理科の不思議さが表紙に表れており、インパクトがあると思いました。探究的な学習「はかる」「みる」「かんがえる」のページがあり、工夫されていると思いました。自由研究についての記載がないのが少し残念かと思います。ただ、デジタルコンテンツは豊富で、非常に良いと思います。

会長：それでは、大日本図書をお願いします。

委員：実験のページが小さな字と小さな写真で掲載されており、少しわかりにくいと思います。小さいだけで子どもたちの捉え方が曖昧になってしまう。だから、もっと大きな写真で表現してくれたらと思いました。

委員：使われている写真がとてもきれいと思います。特に各単元の最初のページの見開きで、写真が掲載されているところがすごくきれいだと思います。また、デジタルコンテンツは生物と図鑑など大変きれいな写真が使われており、生徒にとって興味を持てる内容だと思いました。

委員：教科書のサイズ感は大きすぎず小さすぎず適度で良いと思いました。中身は少し見にくい印象で、版が小さいからか文字が多いような気がします。

委員：版が小さいところが少し気になりました。例えばいろんな写真や資料がどうしても小さくなってしまうのが気になりました。単元の後にまとめ、知識の整理、読解力問題があるのが特徴的で、言語活動や発表ができるような構成になっていると思います。

委員：教科書サイズが小さいことで中身が窮屈となり、写真や文字が小さくなっているため、見にくいと感じる生徒がいる可能性があると思います。しかし、1年間を通して探究のまとめに「自由研究にチャレンジ」があり、学習の振り返りとして活用しやすく感じます。また、非常にわかりやすい印象で夏休みの宿題などでも活用できると思います。

会長：では続いて学校図書をお願いします。

委員：表現が整理されていてわかりやすい教科書だと思います。しかし、探究学習という点についてはもう少し工夫できる部分があるのではないかなと感じました。

委員：デジタルコンテンツでチャット機能あり、質問できるところが今の子どもたちの実態にあっていると思いました。

委員：内容的には良いと思うんです。しかし、背景のところが水色で、写真の上にかぶせている文字は白抜きにしているところに違和感があります。

委員：私も各単元の見開きページの写真は本当に素晴らしいと思ったんですが、ページの色と文字の関係がちょっと見づらいという印象があります。探究に関してはもう少しバリエーションがあっても良いのかなと思いました。

委員：私も写真に関しては、ちょっと背景が気にはなったんですが調査報告にありましたように、実物の写真っていうのが非常に多く、リアリティーは非常に高い写真が多いと思いました。実験や観察は化学が中心となりがちですが、「地球について」や「生命について」など様々なジャンルも豊富に取り扱っているというのが印象としてあります。チャットができるところは私も面白いと思ったんですけど、ここだけ限定公開になっており、開発状況が少し気になりました。

会長：それでは教育出版をお願いします。

委員：探究学習に繋がるような工夫をしてほしいと思うんですけども、写真を効果的に取り入れており、とても見やすい教科書だと思います。それぞれの単元の後に要点と用語の整理、活用問題があり、子どもたちにとってわかりやすい教科書だと思います。

委員：デジタルコンテンツの要点チェックが手軽に確認でき、ポイントを押さえて振り返ることができます。また、要点チェックでわからなくなった場面に戻ることも良いと思いました。

委員：最初の見開きに教科書で使われているマークがまとめてあり、わかりやすいように配慮されていると思いました。

委員：本文の文字が大きく、簡潔にまとまっており見やすく工夫されていると感じました。また、実験の記載については、異なる書体で書くなど目立たせる工夫をしていると思います。単元の最後に知識の振り返りや用語の整理、基礎問題、活用問題があるなど、ステップを踏んで整理されているところは非常に良いと思いました。

委員：字が大きくて見やすい印象があります。しかし、写真もうまく入れていると思うのですが、時々、見開きにイラストと写真の両方あるところで、イラストがぼやけた感じが少し気になりました。巻末にジオパークの紹介があり、教室外へとつなげることを意識した構成となっていると思いました。ただやはりデジタルコンテンツについては、C T生物図鑑という非常にきれいな写真がありますが、その他情報量は少ないので、少し弱いところかと思いました。

会長：それでは啓林館をお願いします。

委員：大きな特徴として、「探Q実験」の例などがあり、課題や仮説、実験、結果などの科学的な思考の順に記載されているところがあります。これによって子どもたちはおのずと自分でレポート書くことなどが身につけられる構成になっていると思います。

委員：同じく、この「探Q実験」が良いと思いました。

委員：写真資料も非常にわかりやすく、きれいなものが使われていると思います。そして、「探Q実験」「探究場面」の記載内容や学習の流れが良く、学習のステップが図示されており、学んでいる生徒自身がどこのステップにいるのか、わかりやすく示されているのが非常に良いと思います。

委員：探究場面のところは非常に良いというのは調査員の報告にもありました。そして、デジタルコンテンツでは動画でチャレンジがあり、動画を見ていろいろ考えるという問題形式で非常に良かったと思っています。SDGsという取り上げ方ではないが、持続可能な社会という切り口で題材が取り上げられている特徴がありました。

会長：それでは意思表示をお願いします。

委員：私は啓林館が良いと思います。

委員：啓林館が良いと思います。

委員：迷いますが啓林館が良いと思います。

委員：先ほどこっとコメントし忘れたんですが、啓林館の中身を見ますと実生活と関連がある例が非常にたくさん上がっているというのも特徴だと思いました。そういった部分も含めて、啓林館が良いと思います。

委員：私は東京書籍か啓林館ですごく悩んでいたのですが、調査員の報告で実験観察を重視すると言われたので、そうすると東京書籍かなと思います。実験観察のやり方とかが充実しているのは東京書籍だと思ったので、私は東京書籍と思いました。

会長：長時間ありがとうございました。事務局にお返ししたいと思います。

（２）加古川採択地区選定委員会報告書の作成について

事務局：本日と次回 29 日に予定している会におきまして、委員の皆さんにいただいたご意見を出版社ごとにまとめて選定報告書を作成しまして、それを会長のお名前で 8 月 8 日に加古川市教育委員会に提出いただきます。本日分の報告書につきましては、次回 29 日（月）に間に合うよう事務局でまとめまして、委員の皆様のお手元に渡るようにいたします。29 日にご協議いただく分に関しては 8 月 1 日までにお手元に届くように準備しますので、修正等必要があれば 8 月 5 日（月）までにご連絡くださいますようお願いいたします。私の方からは以上です。

事務局：それでは何か先ほどの件につきまして、ご意見はございますでしょうか。
連絡事項に移ります。

5 連絡事項 第3回選定委員会、報告書について

事務局：7月29日（月）13時より、残りの教科について、2市2町の合同報告会を行った後、このような形で選定委員会を開きたいと思います。事前にお知らせしました通り、保健体育と理科が入れ替わっておりますので、29日に保健体育の選定をよろしくお願いいたします。残りの教科書見本をお持ちの方がいらっしゃいましたら、月曜日にご持参いただきますようよろしくお願いいたします。

6 閉会